

第18回
国内観光活性化フォーラム
in あいち

開催日
2024年 (令和6年) 2月15日(木)

会場
名古屋国際会議場

新しい旅立ちじゃ
皆の者、出陣!

名古屋城
ひっかきし
餃子
名古屋国際会議場
Studio Ghibli
ジブリパーク
四谷の千代田
本郷川橋脚
徳政あじさいまつり/あじさいの苑
名古屋提供(公財)名古屋観光コンベンションビューロー/興隆市
名古屋市

報告書



一般社団法人 **全国旅行業協会**
ALL NIPPON TRAVEL AGENTS ASSOCIATION



第18回

国内観光活性化フォーラム in あいち

●開催日
令和6年(2024)
2月15日(木)



大会スローガン

新しい旅立ちじゃ 皆の者、出陣！

目次

- 開催概要 1
- 開会式 2
- 基調講演 7
 - これからの観光政策について
 - 観光庁 観光産業課長 庄司 郁 様
- どえらい名古屋。オンステージ..... 11
 - 名古屋おもてなし武将隊演武、
 - 河村たかし名古屋市長によるウェルカムトーク、OS☆Uライブステージ
- 表彰式..... 12
 - 山形県送客キャンペーン表彰式
 - 学生がつくる愛知県の着地型旅行プランコンテスト
- 愛知県送客キャンペーンの提案 14
- 次回開催地引継式・閉会 15
- 観光PRブース / トーク・アトラクション「ガンバレルーヤ」 16
- 懇親交流会 18
- 全旅インバウンド商談会 in あいち..... 20
- 後援・協賛 21



- 【名称】 第18回 国内観光活性化フォーラム in あいち
- 【主催】 一般社団法人 全国旅行業協会 【共催】 株式会社 全旅
- 【日時】 令和6年2月15日(木) 12:45～17:20
- 【会場】 名古屋国際会議場(愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番1号)
- 【スローガン】 「新しい旅立ちじゃ 皆の者、出陣！」
- 【次第】
- ①12:45～13:15 オープニングアトラクション につぼんど真ん中祭り「よつ葉庄内ハッピーダンスクラブ」
- ②13:20～13:55 開会式
- 開会宣言 地元実行委員会 委員長 森川 雅史
- 主催者挨拶(代読) (一社)全国旅行業協会 副会長 近藤 幸二
- 来賓挨拶 観光庁長官 高橋 一郎 様
- 歓迎挨拶 愛知県知事 大村 秀章 様
- 来賓・主催者紹介
- ③14:00～14:20 基調講演「これからの観光政策について」 観光庁 観光産業課長 庄司 郁 様
- ④14:25～15:05 「どえらい名古屋。オンステージ」
- 名古屋おもてなし武将隊演武、河村たかし名古屋市長によるウェルカムトーク、OS☆Uライブステージ
- ⑤15:05～15:55 展示ブース見学
- ⑥15:55～16:35 表彰式 本部実行委員会 委員長 近藤 幸二
- 「山形県送客キャンペーン」入賞会員表彰
- 「学生がつくる愛知県の着地型旅行プランコンテスト」表彰・講評
- ⑦16:40～16:45 愛知県送客キャンペーンの提案 (一社)全国旅行業協会 副会長 駒井 輝男
- ⑧16:45～17:05 ガンバレルーヤによるアトラクション
- ⑨17:05～17:15 次回開催地引継式
- 地元実行委員会 委員長 森川 雅史
- 京浜地方支部長連絡会 議長 村山 吉三郎
- 次回開催地挨拶 (一社)全国旅行業協会 東京都支部長 村山 吉三郎
- ⑩17:15～17:20 閉会挨拶 " 副会長 北 敏一
- 【参加者数】 約1,500名(内 会員870名、来賓162名、出展者・一般来場者約450名)
ANTA 会員、観光関係行政機関・自治体、観光関係団体・企業、報道機関、一般客 等



開 会 式



開 会 宣 言

森川 雅史 地元実行委員長

まず、このフォーラムにご参加いただきましたご来賓の方々に御礼を申し上げます。そして、遠方よりご来場いただきました旅行関係者の皆様に、ようこそ愛知県名古屋市へお越しいただきまして、ありがとうございます。さらに、3階席の一般観覧の皆様にも、本日は有意義で楽しい一日を過ごしていただきたいと思っております。

ここ愛知県は、徳川・織田・豊臣の三英傑にまつわる歴史があり、キャベツや電照菊などの農産地であり、名古屋めしや八丁味噌などグルメの食文化もあります。本会場施設内のイベントホールでは、愛知県の魅力あるブースを展開しております。また、ドジャーズの大谷翔平選手がサインした松の切り株を特別展示しております。この切り株の木材は、名古

屋城本丸御殿の復元に使用される予定で、大谷選手の故郷でもある岩手県産の「月山松」に、WBC強化試合で名古屋にお越しになった際、サインを書き入れていただいたものになります。さらには、名古屋城にある金シャチのレプリカの展示をはじめ、地元観光産業の発信として、たくさんのブースをご用意しておりますので、ぜひお立寄りをお願いします。

私たち地元実行委員は、前回の山形フォーラムの以前から1年以上、今日まで準備をまいりました。本フォーラムでは、岐阜・三重・静岡県支部の皆様にも、スタッフとしてご協力いただいております。会場でお困りのことがございましたら、なんなりと黒いジャンパーを着ているスタッフにお申し付け願います。

昨年5月、新型コロナが5類へと引き下げられ、政府の対処方針も廃止となり、いよいよ観光産業も復活かと思われましたが、今年元日に発生した能登半島地震により、北陸地区の観光業界は壊滅的な打撃を受けました。しかし、私たちは指をくわえて見ているだけではいけません。人々を楽しませる仕事を継続していくため、「新しい旅立ちじゃ、皆の者いざ出陣！」のスローガンを胸に、今回のフォーラムを切っ掛けとして、さらなる飛躍をしていただければと思っております。

それでは、ただいまより「第18回 国内観光活性化フォーラム in あいち」を開会させていただきます。

本日は一日どうぞよろしく願いいたします。



主 催 者 挨拶
近 藤 幸 二 副会長(代読)

ようこそ「第18回 国内観光活性化フォーラム in あいち」にご参加をくださいました。ここ名古屋国際会議場に多くの会員の皆様方、並びに地元の観光関係者の方々にお集りいただきました。また、ご来賓といたしまして、観光庁より高橋長官、そして、地元より大村愛知県知事、河村名古屋市長をご来賓としてお迎えし、このように多くの皆様の中で開催できますこと、準備をさせていただきました地元実行委員会、そして、当協会にとってこれ以上の喜びはございません。本当にありがとうございます。

本来であれば、当協会会長の二階俊博よりご挨拶を申し上げるところではございますが、政務のため東京を離れることができず、やむなく出席が叶わなかったことを大変申し訳なく思っております。会長からは「皆様の元気な顔を見ることができず残念です。くれぐれもよろしくお伝えください」とのことでした。併せて、会長のメッセージをお預かりしてまいりましたので、代読をさせていただきます。

「第18回 国内観光活性化フォーラム in あいち」が、大村愛知県知事、河村名古屋市長をはじめ、多くの地元の皆様のお力添えとご熱意を賜り、歴史文化、モノづくりとグルメ、豊富な観光資源を有するこの愛知の地において開催されますことを、たいへん嬉しく光栄に思っております。

また、全国各地でご活躍される ANTA 会員の皆様、並びに、日ごろ観光振興にご尽力される地元自治体や観光関係の皆様が一堂に会してご参集いただきましたことに、厚く御礼を申し上げます。

そして、本フォーラムの成功に向けて、日夜ご準備をされた地元実行委員会並びに関係各位の皆

様のご労苦にも、深い敬意と感謝を申し上げます。

さて、本年元日に発生した能登半島地震から1ヶ月半の時を経ようとしています。この地震により多くの尊い命が失われ、多くの方々が被災し、私たちの仲間である ANTA 会員も被害を受けました。お亡くなりになられた方々に心からお悔やみを申し上げますとともに、全ての被災された方々にお見舞いを申し上げます。私たちは、この震災を片時も忘れることなく、被災された方々の立ち上がりのために、観光庁とも手を携え、しっかりとご支援してまいりたいと存じます。

ときに、観光産業は、コロナ禍の3年以上にわたる大打撃を受け、ようやく本格的な復興期に差し掛かってまいりました。昨年来、国内観光需要は、インバウンド旅行も含め、見事に回復を成し遂げたところであります。我が国の魅力溢れる観光資源は、日本人だけでなく、外国の人々をも惹きつけて止まない無限の可能性を秘めています。

初の「都市型大規模開催」となる今回の愛知フォーラムは、観光産業が完全復活を果たす起点として、我が国が新しい観光立国の道を歩み出す重要な第一歩として、実り多き機会になると確信しております。

世界に目を転じれば、各地で緊張の対立や戦乱が起きています。もとより観光は、平和の地にのみ成立し得る産業です。すなわち、観光産業の推進は、平和の推進にも直結するといえます。私たち 5400 社の ANTA 会員の一人一人が、“世界中の人々に笑顔と感動を与える崇高な仕事に従事している”その矜持を胸に、迷うことなく真つしぐらに前進してまいりましょう。

最後になりますが、この愛知の観光が大いに飛躍を遂げられますよう、私たちも全力を尽くしてまいります。愛知の益々のご発展、そして、ご参集の皆様の更なるご活躍を心より祈念いたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。



来 賓 挨 拶
高橋 一郎 観光庁長官

本日、ここ愛知県名古屋市で「第 18 回 国内観光活性化フォーラム in あいち」がこのように盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。この国の観光を力強く担っていただいている二階会長、近藤副会長をはじめ全国旅行業協会の皆様、また、本日の開催に多大なお力添えをいただきました大村知事、河村市長をはじめ自治体の皆様方に心より感謝を申し上げ一言ご挨拶をいたします。

まず、年始に能登半島で発生した地震によりまして亡くなられた方々、そのご家族、そして被災されたすべての方々に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。今もなお、日々厳しい暮らしを沢山の方が避難所で生活しておられます。観光庁といたしましては、観光業界の皆様のお力を得て、少しでも足を伸ばして暖かい所でお休みになれるよう、ホテルや旅館への二次避難を進めることのお手伝いをしております。また、被災者の方々へのご支援、そして、北陸応援割、観光地の復興に全力を尽くしてまいります。

厳しく苦しいコロナ禍を耐え抜いて、全国各地の観光地にやっと国内の観光客の賑わいと活気が戻ってまいりました。昨年のインバウンドは 2500 万人、消費額は 5.3 兆円と過去最高に上りました。しかし、日本のインバウンドはこんなものではありません。まだまだ伸びます。地方部の魅力が開くのはこれからです。限りない可能性を持つ地方部に国内外の大きな観光誘客の流れを作らなければいけません。その中で全国旅行業協会の皆様方におかれては、従来から取扱実績の大きな団体旅行のみならず、着地型旅行の商品造成にも力を尽くしていただいて

おります。これは古くからお付き合いのある地域の関係者の方々との絆、地域を隅々まで知り尽くした方々でなければできないことであって、まさに地域において豊かな旅を創るうえで、たいへん大事な取り組みであります。

私どもは昨年、持続可能な観光商品を表彰する「サステナブルな旅 AWARD」という賞を創設いたしました。御協会会員でもある「Tricolage 株式会社」様が地域の自然を生かして存分に楽しんでいただける持続可能な旅行を造成していただき、準大賞を受賞しました。サステナブルがどこの社会でもキーワードとなっておりますが、観光の世界においては、環境面はもとより経済的な意味でも社会的な意味でも、持続可能なあり方で観光をやっていかねばならないと思っております。

価値を高め、価値に見合った値付けをし、収益をしっかりと上げ、それを未来のための成長投資と人材育成に使い、次世代に受け継ぐ観光にさせていただく。観光産業を担い地域の観光を支える全ての方々により一層の夢と誇りを持って進んでいただけるよう、私どもは全力で一緒に進んでまいりたいと思っております。

そのことをお誓い申し上げ、フォーラムの成功と皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



歓迎挨拶
大村 秀章 愛知県知事

まず、挨拶に先立ちまして、1月1日に発災いたしました能登半島地震につきまして、犠牲になった方々に心からお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。被災された皆様が一日でも早く、元の生活に戻れますように、私ども愛知県は県内の市町村の皆様と一体となり、最大規模の支援体制を敷かせていただいております。しっかりと取り組んでいきますので、何卒よろしく願いいたします。

能登半島には、私が国会議員の折、後援会の皆様と一緒によく後援会旅行をしたものです。加賀温泉郷や芦原温泉は、あまり大きな被害はなかったようではありますが、和倉温泉にもよく行きました。加賀屋様をはじめ多くのホテル・旅館にお伺いしましたし、輪島の朝市にも行きましたが、壊滅的な被害を受けていることを拝見いたしますと、胸が痛む思いがいたします。皆様と一緒にしっかりと支援をし、復旧・復興を支えていきたいと思っておりますので、何卒よろしく願いいたします。

さて本日、「第18回 国内観光活性化フォーラム in あいち」が、盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、全国各地から愛知県名古屋市へお越しいただいた皆様を、心から歓迎させていただきます。全国旅行業協会の二階会長、近藤副会長、地元の森川実行委員長をはじめ、全国からお越しの皆様にご心から歓迎を申し上げます。また、高橋観光庁長官をはじめ、行政関係の皆様方にも心から敬意を表する次第であります。

皆様方には、旅行者の方々が安心して旅行ができるよう、きめ細やかな運送・宿泊等のサービスを提供し、私ども各自治体が有する様々な観光資源

を大いに活かしていただいて、着地型旅行を推進するなど地域経済の発展、あるいは雇用に大きな貢献をしていただいていることに、心から感謝を申し上げます。次第でございます。

私ども愛知県は、トヨタ自動車をはじめとする自動車産業が盛んで、製造業の生産額だけで50兆円近くあります。第2位の神奈川県や大阪府は約17から18兆円であり、愛知県はその3倍近くありますので、そういう意味では大産業県ではありますけれども、歴史やグルメ、産業観光等も見所がたくさんあります。2015年には、「あいち観光元年」を宣言させていただき、県庁に観光局を作りました。2019年からは観光コンベンション局とし、観光事業の振興からMICE・コンベンションも率先して取り組んでいるところです。そして、今後は「量」を求めめる観光から「質」を重視する観光への転換を図るべく目標を立てて取り組んでいるところです。

例えば、2022年11月に第1期がオープンいたしましたジブリパークは、県の愛・地球博記念公園の中に造り、スタジオジブリ様と中日新聞様に運営していただいております。スタジオジブリ様からのご用命で、できるだけゆったりと楽しんでいただきたいということで、定員としてはもっとお客様が入場できるのですが、むしろ人数を絞ってクオリティを高める・維持するという形で運営させていただいております。さらに第2期工事も全て完了し、3月16日にはフルオープンいたします。魔女の宅急便、ハウルの動く城、アヤと魔女という一番大きなエリアをオープンさせ、更にはトヨタ自動車様に5台のネコバスを製造していただき、愛・地球博記念公園の森の中を走らせるアトラクションも同日からスタートいたします。

国内外から多くのお客様にお越しいただけると考えておまして、海外のお客様が全体の約2割、平日ですと3割を超えていて、日本語と英語の予約サイトのそれぞれで入場人数を調整しております。英語の予約サイトさえ枠を増やせば海外から多くのお客様の予約が入るといった状況ですので、そこはしっかりとやっていきたいと思っております。

3月に全5エリアがフルオープンいたしますと、1日では回り切れません。1日で見るとは不可能ですので、連泊の券を用意することも考えております。今まで愛知県内の学校の方々に1日約500名の遠足枠を設けておりましたが、新年度からはこれを全国に広げて、教育旅行などの受け入れも、いま検討

開 会 式

しておりますので、また楽しんでいただければと考えております。

そして、私どものもう一つの観光面での取組みが観光需要の平準化になります。土日祝日に旅行者が多く、一方の平日は少ない状況をできるだけ平準化をしようということで、一昨年から休み方改革に取り組んでおります。今年度から平日に旅行をすると割引される「あいちスキ旅キャンペーン」を実施しております。昨年11月21日から27日までの1週間で「あいちウィーク」といたしまして、平日1日を愛知県内の小中高・幼稚園等、学校を休んでいただく「県民の日学校ホリデー」も創設いたしました。昨年11月24日の金曜日を休んでいただき4連休とした学校が約9割あり、愛知県内はもとより、伊勢志摩方面・岐阜県・浜名湖方面等、隣県のホテル・旅館も満杯だったと聞いております。その金曜日の平日は、名古屋市の東山動物園は家族連れでごった返し、犬山市のモンキーパークは長蛇の列、また、名古屋市からUSJへの直行バスも満席だったとの報告も受けました。

そのようなこともあり、私は全国知事会で休み方改革プロジェクトチームのリーダーを務めております。39都道府県にご参加いただいておりますが、各県で平日の県民の日の休みを互い違いにして、お互いに行き来をしようという話をしているところです。そうした面でも観光需要を平準化して、日本全体の観光関連産業の底上げ・活性化を図っていきたくと考えておりますので、引き続き皆様方のご支援をお願い申し上げます。

さてもう一つ、愛知県には、歴史・産業・自然・伝統文化・食など、様々な魅力があります。信長、秀吉、家康の三英傑を生んだ愛知県には、国宝・犬山城をはじめ、城や古戦場などもありますし、近現代の産業遺産も有しておりますので、ぜひ多くの皆様にお越しいただければと存じます。

また長年、県民に愛される味噌カツやきしめん、手羽先など、愛知ならではの美味しい食と、これらを支える味噌・醤油・みりん・お酒など発酵食の文化もあります。ぜひこの機会に皆様にご堪能いただければ幸いです。なごやめしは、すべて美味しいのですが、名古屋コーチンの鶏味噌鍋はおすすめで、是非ご賞味いただければと存じます。

本日は、日頃から旅行商品を造成されている全国各地の旅行業者の方々、本県の観光に興味を

抱いている皆様にお集まりいただいております。皆様方には、愛知県の魅力あふれる観光資源を知っていただき、全国へPRをしていただきたくお願い申し上げます。

結びに、本フォーラムの開催にあたり、御尽力いただきました全国旅行業協会並びに関係の皆様、深く感謝申し上げますとともに、皆様方のご健勝・ご多幸・ご活躍を祈念申し上げます、お祝いと歓迎の挨拶とさせていただきます。



オープニングアトラクション
よつ葉庄内ハッピーダンスクラブ

基調講演
これからの観光政策について



観光庁観光産業課長 庄司 郁 様

本日はこのような盛大なフォーラムにお招きいただき、光栄な機会を頂戴しましたこと、まずもって心より感謝を申し上げます。

さて、観光は非常に重要な政策であり、またコロナの最中、とても大きな打撃を受けた産業です。現在、観光がどういう状況にあるのか、そして、政府としてどのように取り組んでいるのかについて、短い時間ではございますが、ご説明をさせていただきます。

はじめに、観光立国推進基本計画は、政府が定める観光政策の最も基本的な方針にあたるものです。この第4次計画が昨年春、2023年から25年までを計画期間として定められております。

まず、冒頭の認識といたしまして、観光はコロナ禍を経てもなお成長戦略の柱であり、地域活性化の切り札です。そして、国際相互理解や国際平和にも貢献する大変重要な平和産業であるという認識を示した上で、大きく3つの柱を提示しています。

観光立国推進基本計画(第4次)について(基本的な方針)

計画期間：令和5～7年度(2023～2025年度)

- 観光はコロナ禍を経ても成長戦略の柱、地域活性化の切り札、国際相互理解・国際平和にも重要な役割。
- コロナによる変化やおよびの課題を踏まえ、2025年(万博開催)に向け、我が国の観光を持続可能な形で復活させる。
- 「持続可能な観光」「消費拡大」「地方誘客促進」をキーワードに、全国津々浦々、観光の恩恵を行きわたらせる。

取り組む3つの戦略

- 持続可能な観光地域づくり戦略**
 - 観光地・観光産業の再生・高付加価値化
 - 観光DX、観光人材の育成・確保
 - 自然、文化の保全と観光の両立等、持続可能な観光地域づくり
- インバウンド回復戦略**
 - コンテンツ整備、受入環境整備
 - 高付加価値なインバウンドの誘致
 - アウトバウンド・国際相互交流の促進
- 国内交流拡大戦略**
 - 国内需要喚起
 - ワーケーション、第2のふるさとづくり
 - 国内旅行需要の平準化

目指す2025年の姿

※個別の施策については、主な内容を記載

- 活力に満ちた地域社会の実現に向け、地域の社会・経済に好循環を生む「持続可能な観光地域づくり」が全国各地で進められ、観光の向上、観光産業の収益力・生産性の向上、交流人口・関係人口の拡大がコロナ禍より進んだ形で観光が復活している。
- 万博の関係地である我が国が世界的潮流を捉えた観光地として観光を浴び、「持続可能な観光」の先進地としても注目されている。

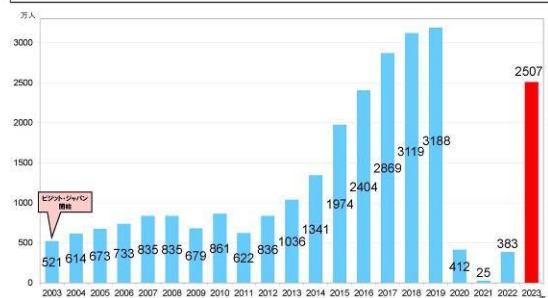
一つは「持続可能な観光地域づくり戦略」、そして「インバウンドの回復戦略」、さらには「国内交流拡大戦略」になります。「国内交流拡大」の中には、需要喚起だけではなく、国内での交流を活発にしているため、需要を平準化する平日の活用やワーケーションも含まれています。これらを柱にして、しっかりと政策に取り組んでいくのが、今の政府の基本的な姿になります。

具体的な目標値を示しますと、まずインバウンドは、国内旅行消費5兆円の早期達成を目指す目標でしたが、早々と23年中に達成が見えています。また、国内旅行についても、コロナ禍を経て23年は需要回復が顕著になってきており、25年の目標に向けて政府としてしっかりと取り組んでいきます。

観光を取り巻く現状のデータにも少し触れます。まずは、訪日外国人旅行者数の推移です。コロナ前の19年には、3200万人に届きそうな水準まで行っていました。そして、目標の4000万人まであと一歩というところでコロナが発生し、20年からほぼ底を打つような水準にまで落ち込みました。一方で、23年は2500万人を超える水準まで戻り、渡航条件が付く中国を除くと19年比の102%となり、コロナ前の水準にまで回復してきています。

訪日外国人旅行者数の推移

○2023年間の訪日外国人旅行者数は2,506万6,100人と2,500万人を超えた。コロナ前と比べ79%の回復(中国を除くと102%の回復)となった。



詳しく国別に状況を見てみますと、19年と比べて23年の中国の割合は小さくなっていますが、韓国、台湾、香港をはじめとする東アジアがけん引しています。また、欧米豪でも割合を伸ばしていて、米国からは過去最高の200万人を超える訪日旅行者がありました。中国も徐々に回復しつつあると聞いてお

基調講演

り、今年はさらに一層の伸びが期待されております。

また、インバウンドの回復状況の中で消費額は、23年にすでに5兆円を達成し、過去最高を記録しています。要因としては、一人当たりの支出額と平均泊数が伸びたことです。平均泊数は、19年の8.8泊から10.2泊に増加しております。日本の滞在が延びていることについて、地方への誘客の可能性が強まっていると、私は理解しています。つまり、泊数が延びれば延びるほど、有名な観光地である東京や京都、大阪だけではなく、名古屋、さらには地方部に足を延ばす機会が増え、行程的な余裕が出てきます。そうした機会が徐々にできつつあるので、先ほども地域活性化にとって観光は重要と申し上げましたが、機会をしっかりと捉えて、地方の誘客につなげていく、その受け皿を地方で作っていくことが重要と考えています。

次に、国内旅行の状況です。日本人の国内旅行者数や消費額は、ずっと横ばいで推移してきましたが、コロナの影響を受けて20年以降、半数以下にまで落ち込みました。まだ23年の通年の数字は出ていませんが、19年の1～9月の同期比の消費額では、約96%まで回復しています。一人当たりの消費額もやはり増え、物価や宿泊費の高騰などの影響もあるかと思いますが、少しずつ伸びている状況です。以上が国内・インバウンドの旅行の基本的な動向になります。

国内旅行の状況 観光庁

- 国内の旅行者数・消費額は横ばいで推移しており、今後も人口減少の影響を受ける
- 2023年1-9月期の国内旅行消費額は、2019年同期比の約96%まで回復
- 2023年7-9月期の国内旅行者一人当たりの旅行支出は、2019年同期比で約14%増



続いて、観光庁としてどういう施策に取り組んでいるかという「予算関係」について少し触れます。令和6年度の観光庁の予算の主要事項です。観光庁として地方をいかに活性化していくかを、大きなテ-

マとして据えており、「地方を中心としたインバウンド誘客の戦略的取組」「持続可能な観光地域づくり」「国内交流の拡大」という柱立てのもとで、特に地方でどうしたら旅行者を呼ぶことができるか、どうしたら旅行者を楽しませることができるのかという視点で、いわゆる観光資源の磨き上げや発掘に力を入れることとしています。

令和6年度 観光庁予算主要事項 令和6年度当初予算: 約540億円 (うち観光関係費440億円)
令和5年度追加予算: 約509億円

急速なインバウンド回復に対応するため、地方への誘客を促進する日本各地のコンテンツ造成や受入体制を強化。併せて、観光を輝ける産業とするため、高付加価値化や観光資源の収益化、生産性の向上を図る

地方を中心としたインバウンド誘客の戦略的取組

- 特別な体験の提供・全国の観光資源の磨き上げ
- 高付加価値旅行者への訴求
- 訪日プロモーション・多言語解説整備
- 公共交通の対応力増強
- MICE誘致機能の強化
- 空港におけるスマートレーンの整備支援等

持続可能な観光地域づくり

- 持続可能な観光
- 人材の育成・確保
- 観光地・観光産業の再生・高付加価値化
- 国内交流拡大

地域で旅行業を営む方も多く来場されているかと思えます。国内旅行は徐々に回復しており、団体旅行にあっては戻りが遅れている部分もあるかと思いますが、地域に根差し、地域と密接に関係を持たれている旅行会社の強みとして、こういった地域資源をうまく活用するような旅行商品や相互の送客、あるいは、受け皿となるような着地型旅行等をご検討いただければと思います。この予算事業の中で二つ、具体的な事業をご説明させていただきます。

一つは、「特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・質向上推進事業」です。要は地域が持っている観光資源を、特にこの期間にしかできない、この機会を捉えないとなかなか体験できないような、特別な体験をコンテンツとして開発・整理・提供していく、そういうものに観光庁としてご支援するという補助メニューです。事業の内容やスキームは資料のとおりですが、3月27日から第2次の公募を予定しています。もしご関心がございましたら、ご参照いただければと思います。

さらにもう一つが「地域観光新発見事業」です。マーケティングも含めて、観光コンテンツの磨き上げから誘客まで繋がるような販路開拓や情報発信などの支援を実施する補助事業です。3月8日から第1

次の公募を始めます。着地型旅行も見据えながら、こうした補助事業も活用いただき、ぜひ地域への誘客にご協力をいただければと思っています。

そして、重いテーマとして元日に発生しました能登半島地震の復旧・復興に向けた取り組みです。政府を挙げて対応していますが、観光復興に向けた取り組みも非常に重要です。北陸といっても、まだ甚大な被害があり、復旧・復興の途にある能登・和倉・奥能登エリアと、金沢や金沢以南、あるいは隣県の富山や福井とは状況が違うところですが、まず「観光復興に向けた取組の柱」として、関係省庁と連携しながら、建物の復旧や従業員の雇用維持に取り組みます。観光庁としては風評被害対策、つまり、実際には被害を受けていないが、旅行者が来なくなっている地域に対して、正確な情報発信と観光プロモーションを行うことを柱の一つにしています。

また、旅行需要喚起策、失われた旅行需要や風評被害によって喪失したキャンセルの部分をしっかり埋め戻すという目的で、「北陸応援割」をできるだけ早く開始したいと考えており、先般、必要な予算措置を行いました。今後、能登地域の復旧・復興となった折には、それを観光の拠点化する、あるいは観光資源をしっかりと再生させることが必要になると考えており、それらの取り組みを観光庁としてもしっかりと支援をしてみたいと考えています。

最後に、「最近の旅行商品の傾向と造成事例」についてお話をいたします。観光庁は昨年、「サステナブルな旅 AWARD」を創設し、昨年10月下旬開催の「ツーリズム EXPO ジャパン 2023 大阪・関西」において表彰式を行ったところです。


サステナブルな旅AWARD 概要について

地域に密着した旅行者からの申請が多く、また単なる旅行だけでなく、地域の課題解決、地方部へのインバウンド誘客にも期待ができる商品も多く、予約実績がある商品もあることから、今後の参考事例としてアワードの概要と一部受賞作品を紹介する。

アワードについて 実施目的：持続可能な観光の実現に向けた取組の普及・促進を図るため、持続可能な観光にかかわる旅行商品のアワードを創設。また、アワードの実施結果を可能な限り多くの旅行者に届けることで、旅行者はもたらふものこと、一般国民の持続可能な観光に向けた意識醸成にも寄与させることを目的とする。	
名 称：サステナブルな旅AWARD 応募期間：令和5年4月1日～令和5年8月31日	
表彰式について 日 時：令和5年10月27日（金）11:00～12:00 場 所：インテックス大阪（ツーリズムエクスポジャパン アステージ（インテックスプラザ）） ステージ：表彰式（受賞商品発表、トロフィー授与等）	
受賞商品：大賞 阿蘇温泉観光旅館協同組合 「特別な許可を得て草原体験！噴煙を上げる阿蘇中岳火口と『千年の草原』E-MTBライド」 Tricolage株式会社 「Connecting to Yatsushiro」 株式会社かまいしDMC 「阿蘇半島の小さなお祭りと漁民が守りつづめる『金山体験』」 特別賞 クラフターリズム株式会社 「阿蘇の歴史・文化・魅力を再発見！『江戸の薪・職人』を撮る〜第3弾〜」 株式会社まげうし 「日本遺産・箱根八里で古の旅路の途標線」 株式会社 FUME MILIGATA 「2023年11月開催トレッキング」 観光総合自動車株式会社 「筑まなほバス旅「レールマウンテンバイクRitten Gell」プラン」	

このアワードは、地域に密着した旅行者の方からの申請がとても多くありました。実際の応募は、昨年4月から8月末にかけて行い、目的としては、持続可能な観光がいろいろな意味でキーワードになっています。日本においても、人口減少化、あるいは地域や経済がなかなか大変な状況にある中で、持続可能性が必要となっております。また、海外も含めて旅行者の意識が、サスティナビリティに非常に重きを置くようになっています。そうした観点から持続可能な観光の実現は、避けて通れない状況になっており、その優れた取り組みを表彰し普及を図るのが、アワードの概要です。

受賞商品例（大賞）阿蘇温泉観光旅館協同組合（第3種旅行者）

【評価点】 旅行者が普段立ち入ることができなかった草原でのサイクリングを可能にしたことで、旅行者に特別な体験を経験させるだけでなく、ツアーの一部料金を草原の保全資金にもつなげた、まさに循環型モデルの好事例である。	
表題 ：「三方よし」の循環モデルの創出 商品名 ：特別な許可を得て草原体験！噴煙を上げる阿蘇中岳火口と『千年の草原』E-MTBライド 商品概要 ：農業により守り受け継いできた『千年の草原』を観光でもサステナブルに活用することで、次の千年に守り伝えていくために生まれた。一定の研修を受けたガイド「牧野ガイド」が同行し、普段は立ち入れない草原を安全・安心に保全・活用していくためのガイドラインを遵守しながらご案内。また、ツアー参加代金の一部は草原の保全料として、野焼き等の草原の保全活動に還元。	
ツアー行程 ：13:00 集合 道の駅阿蘇（ASO田園空間博物館） 13:15～16:45 E-MTB（電動自転車）による阿蘇中岳『千年の草原』サイクリング 17:00 解散 道の駅阿蘇（ASO田園空間博物館）	選定理由 （委員長談話）：特に優れている点は、ツアー実施のための仕組みが地域社会のなかに組み込まれていること。牧野（草原）は阿蘇の大きな魅力ですが、人口減や産業構造の変化等から減少が続いています。そこで、一般人が立ち入れない牧野を観光用に活用することで社会課題を解決しようというのがこの企画の目的。特別に立ち入りができる牧野ガイド選定の仕組みをつくり、活動のためのガイドラインを策定し、ツアー価格に牧野保全料を組み込むことで安定した資金源の仕組みを実現。旅行者は人数が制限された牧野をゆっくりと楽しみ、地元には新しい収入源が生まれ、牧野の環境も保全される「三方よし」の循環モデルを創出。

アワードに入賞した2作品の中から、まずは大賞の阿蘇温泉観光旅館協同組合様の商品を事例としてご紹介いたします。

この商品は、旅行者が普段立ち入ることができなかった草原でサイクリングを可能とするもので、着眼点もさることながら、ツアー代金の一部を草原の保全資金として、自立サイクルできるような商品にしたところに着目しました。地域資源としては、ものすごく強力なコンテンツではありませんが、着眼点や地域の関係者を巻き込んだ商品の創造力や構想力が決め手だったのではと考えており、こうした仕組みを地域社会の中に取り入れることによって、普段入れないところをサイクリングできる。旅行者を喜ばせるだけでなく、地域の方々にも感謝をされ、地域の資源を次世代に守ることができていると考えており、審査員からも高い評価を受け、大賞となった作品です。

もう一つは、ANTA会員の Tricolage(トリコラージュ

◆どえらい名古屋。オンステージ◆

名古屋おもてなし武将隊が迫力ある演武を披露した後、河村たかし市長が名古屋コスプレホストタウン PR 隊とともに登壇し、名古屋の観光魅力の紹介を交えたウェルカムトークで、会場を大いに沸かせた。さらに、地元アイドルグループ OS☆U が名古屋観光 PR ソングなどのライブステージを展開した。



表彰式

◆山形県送客キャンペーン 表彰式◆

前回の「第17回 国内観光活性化フォーラム in やまがた」(令和5年3月17日開催)において、山形県への送客目標を5万名とする「山形県送客キャンペーン」が採択され、当協会では、令和5年4月から令和6年1月までの10ヵ月間にわたり、同キャンペーンを実施した。

本フォーラムの中で表彰式を行い、近藤本部実行委員長より、本事業に協力した送客上位4社の入賞会員に対して表彰状と記念品が贈られ、地元を代表して鳥村山形県支部長から同キャンペーン実施への謝辞が述べられた。

○ 事業の概要

(1) 対象の旅行 山形県への宿泊を伴う旅行及び日帰り旅行

＊日帰り旅行は、送客人数を2分の1で算出

(2) 対象期間 令和5年4月から令和6年1月までの10ヶ月間に実施された上記(1)の旅行

○ 実施結果

送客延べ人数(泊人数) 29,473名

○ 入賞会員

最優秀会員:(株)和楽旅行社 (宮城県支部所属)

優秀会員:(株)オーティービー (山形県支部所属)

準優秀会員:羽後交通(株) (秋田県支部所属)

準優秀会員:(有)トランスオーシャンツアーリスト (山形県支部所属)



山形県送客キャンペーン受賞者の皆様



鳥村 成実 山形県支部長による謝辞

◆学生がつくる愛知県の着地型旅行プランコンテスト 表彰式◆

当協会では、愛知フォーラム開催事業の一環として、愛知県が主催する「観光まちづくりアワード」との共同募集により、「学生がつくる愛知県の着地型旅行プランコンテスト」を実施した。本コンテストは、愛知県在住の高校生以上で学校に在籍する学生を対象とし、44 作品 89 名からの応募があった。

令和5年12月22日開催の審査会(選考委員長:(一社)愛知県観光協会 専務理事 榊原 仁氏)において、最優秀賞1組、優秀賞2組、特別賞3組、学校賞が選定され、本フォーラムの中で表彰式を行い、近藤本部実行委員長から各受賞者に対して表彰状と副賞が贈られた。

○ 審査員

(一社)愛知県観光協会 専務理事 榊原 仁 様

(株)全旅 代表取締役社長 中間 幹夫 様

第18回 国内観光活性化フォーラム in あいち 本部実行委員会 委員長 近藤 幸二

// 地元実行委員会 委員長 森川 雅史



○ 受賞者

※📄につきましては、愛知県が実施する「観光まちづくりアワード」の受賞4作品となります。

【最優秀賞:1組】

○花の王国あいちで花の魅力を知ってもらい、

ロスフラワーの削減につなげよう!! 📄

中京大学 今井ゼミ (青柳 佳史乃さん、磯谷 陽菜さん、清水 亜紗実さん)

【優秀賞:2組】

○「明るいダークツーリズム」による産業観光-愛の地(あいち)で戦争の闇に明るい光を照らそう- 📄

榊山女学園大学 現代マネジメント学部
水野英雄ゼミ(高橋 華さん、坂根 璃胡さん、角田 遥彩さん、二ノ宮 杏璃さん、野田 歩実さん、松田 成未さん、武藤 愛佳さん、山下 美並さん、山田 麗香さん)

○可愛い地球を救おう! ラーケーションツアー 📄

愛知淑徳大学 林ゼミ(畔柳 心さん、春日井 杏奈さん、小倉 瑠南さん、間瀬 百々花さん、西垣 みずほさん、中谷 さくらさん、石倉 佳奈さん、安達 莉那さん、北村 花鈴さん、脇谷 藍衣さん)

【特別賞:3組】

○愛知の海の豊かさと危機を実感する離島3島を巡る旅
金城学院高校 (廣瀬 実玖さん)

○IKD ~イン飛島村 かわくだり だいさくせん~ 📄

名古屋市立大学 人文社会学部現代社会学科 三浦ゼミ
(田中 優斗さん、伊藤 安珠さん、上杉 さくらさん、河原 紬希さん、酒井 莉子さん、佐藤 紗良さん、志水 万里菜さん、長井 柗策さん、中子 穂乃佳さん、細江 唯月さん)

○泊って学ぶ! 地元企業とSDGs

~愛知の未来を支える者たちへ~

中京大学 坂田隆文ゼミ
(竹内 萌恵さん、上久保 百華さん)

【学校賞】

○名城大学附属高等学校の皆様(28名)

◆愛知県送客キャンペーンの提案◆

駒井輝男副会長より、本フォーラムの開催を契機に、当協会5400社の会員ネットワークを活かし、愛知県への送客目標を10万人とする「愛知県送客キャンペーン」が提案され、賛同する満場の拍手により採択された。



愛知県への送客提案 駒井 輝男 副会長

本日、全国旅行業協会は、愛知県名古屋市において「第18回 国内観光活性化フォーラム in あいち」を開催し、数多くのご来賓の皆様のご来場を賜るとともに、47支部の代表者及び会員の皆様にご参集のもと、成功裡に実施することができました。

この愛知は、戦国乱世の三英傑を輩出した歴史舞台であり、また、ご当地グルメ「なごやめし」で知られる食文化、そして、世界に誇る自動車産業などの「ものづくり」、さらには、四季折々に美しく彩られる山や海の豊かな自然も存在しています。

これら魅力あふれる様々な観光コンテンツを活かして、愛知県が策定する「あいち観光戦略」のもと「あいち『ツウ』リズム」を強力に推進し、また、名古屋市では、昨年の海外有名誌で世界的観光都市に選出される成果を上げるなど、県内各自治体が全力で観光振興に取り組まれ、愛知を訪れた旅行者に期待を超える感動を与えております。

全国旅行業協会では、この愛知フォーラムの開催を好機と捉え、5400社の会員ネットワークを活かし、愛知県への送客活動を令和6年度に実施することをご提案申し上げます。

具体的には「全旅協 愛知県送客キャンペーン」と題し、令和6年3月から12月までの10ヵ月間、10万人を目標に、全国各地から愛知県内へ送客する事業活動を展開いたしたく存じます。

会員の皆様におかれましては、本キャンペーン実施のため、愛知県の観光魅力を全国のお客様へ発信していただくとともに、一層の送客支援のご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和6年2月15日 名古屋国際会議場にて
一般社団法人 全国旅行業協会

◆次回開催地引継式◆

次回開催の東京フォーラムに向けて、地元実行委員会の森川雅史委員長より京浜地方支部長連絡会の村山吉三郎議長に大会旗が引き継がれ、村山東京都支部長から成功に向けて意気込みが語られた。



森川 雅史 地元実行委員長



村山 吉三郎 京浜地方支部長連絡会議長



東京都支部の村山支部長と会員一同

◆閉会◆

本フォーラムの締め括りとして、北敏一副会長より閉会挨拶がなされ、盛会裡に終了した。



閉会挨拶 北 敏一 副会長

◆観光PRブース◆

地元を中心に全国各地の観光資源や自社商品等のPRブースが、名古屋国際会議場館内の1階イベントホールに設営され、県内外より54者の自治体・団体・企業が出展し、多くの来場者で賑わった。

☆出展者

1. 愛知県、2. 名古屋市、3. (株)日本旅行、4. (株)旅行ビジネスサポート、5. 愛知県旅行業協会協定会員連盟、6. (一社)西尾市観光協会、7. 田原市、8. (一社)犬山市観光協会、9. 知多半島観光圏協議会、10. 南知多町、11. 豊明市観光協会、12. 岡崎市、13. 海部郡町村会、14. あま市観光協会、15. 愛西市観光協会、16. 農林水産省 東海農政局、17. シヤチハタ(株)、18. (株)カクキュー八丁味噌、19. 名古屋ビール園浩養園、20. まるは知多(株)、21. 愛知バス(株)、22. 四季(株) 名古屋営業所、23. MATSUKAZE、24. 清須甲冑工房、25. 東海旅客鉄道(株)、26. (一社)大須演芸場、27. 合同会社 P-BEANS、28. KKR ホテル名古屋、29. エピスタコーポレーション・(株)カサロ、30. 愛知県案内所連合会総合部会、31. (株)全旅、32. (株)アゼスタ、33. (株)アーク・スリー・インターナショナル、34. リソル(株)、35. (株)JR 西日本ヴィアイン、36. 中部国際空港(株)、37. (株)フジドリームエアラインズ、38. スカイパックツアーズ(株)・スカイマーク(株)、39. (株)JTB/TPI、40. 近畿日本ツーリスト(株)、41. 日本システム開発(株)、42. (株)ブロードリーフ、43. ビッグホリデー(株)、44. 公益社団法人鳥取県観光連盟、45. 公益社団法人和歌山県観光連盟、46. 南紀エリアスポーツ合宿誘致推進協議会・南紀エリア観光推進実行委員会、47. (公社)神奈川県観光協会、48. (一社)全国旅行業協会石川県支部、49. (一社)全国旅行業協会北海道支部、50. (株)オープンハウス、51. VISON 多気(株)、52. (一社)相差海女文化運営協議会、53. キューカン(九観連)中部事務所、54. ソラーレホテルズアンドリゾート(株)





◆トークアトラクション ガンバレルーヤ◆

展示ブースの見学時間後、ステージでは人気お笑い芸人「ガンバレルーヤ」がコミカルなトークショーを繰り広げ、会場は大いに盛り上がった。地元出身のよしこさんから、愛知にまつわる心温まるエピソードなども披露され、大きな笑いに包まれた。



ガンバレルーヤ（左:よしこさん 右:まひるさん）

懇親交流会

- 【名称】 第18回 国内観光活性化フォーラム in あいち 懇親交流会
【主催】 第18回 国内観光活性化フォーラム in あいち 地元実行委員会
【日時】 令和6年2月15日(木) 18:45~20:30
【会場】 名古屋東急ホテル(名古屋市中区栄 4-6-8)
【次第】

ウェルカムミュージック ピアノ・フルート演奏

開会宣言 地元実行委員会 副委員長 大野 静雄

歓迎挨拶 愛知県知事 大村 秀章 様

歓迎挨拶 名古屋市長 河村 たかし様

乾杯挨拶 (公社)日本観光振興協会 理事長 最明 仁 様

ご 歓 談

アトラクション 二胡演奏

閉会挨拶 (一社)全国旅行業協会 副会長 近藤 幸二

【参加者数】 509名(内 会員 439名、来賓等 70名)



開会宣言 大野静雄 地元実行副委員長



歓迎挨拶 大村秀章 愛知県知事



歓迎挨拶 河村たかし 名古屋市長



乾杯挨拶 (公社)日本観光振興協会
最明 仁 理事長



ウェルカムミュージック ピアノ・フルート演奏



来賓挨拶 伊藤忠彦 衆議院議員



アトラクション 二胡演奏



閉会挨拶 近藤幸二 副会長

全旅インバウンド商談会 in あいち

◆全旅インバウンド商談会 in あいち◆

- 【主催】 株式会社 全旅
【後援】 一般社団法人 全国旅行業協会
【日時】 令和6年2月14日(水) 13:00~20:00
【会場】 名古屋マリオットアソシアホテル(愛知県名古屋市中村区名駅 1-1-4)
【参加者】 バイヤー 台湾・韓国の旅行会社 36社(39名)
 セラー ANTA 会員、観光関連受入施設、観光行政 計 44 団体
【内容】 (1)全旅インバウンド商談会 13:00~17:20
 ・開会挨拶 (株)全旅 取締役副社長 武井 哲郎氏
 ・商談会(1社15分×12セッション)
 (2)全旅インバウンド商談会 懇親会 18:00~20:00

「全旅インバウンド商談会 in あいち」が(株)全旅の主催、当協会の後援により、愛知フォーラム前日の2月14日に名古屋マリオットアソシアホテルにて開催された。

同商談会は、平成28年(2016年)から、フォーラム開催地へのインバウンド観光の促進と、セラー・バイヤーのネットワーキングの構築を図るために開催されているもので、コロナ禍の影響で近年の実施を見合わせていたことから、今回は5年ぶり5回目の開催となった。

商談会では、バイヤーである海外側からは、台湾・韓国のアウトバウンドを取り扱う旅行業者 36社 39名を招聘し、セラーである日本側からは、東海地方を中心にインバウンド誘致・誘客に関心が高い ANTA 会員、観光関連の受入施設・運送機関・団体等 44社が参加した。

事前マッチングによるセッション形式で行われた商談会は、セラー側から着地型旅行商品や地域の観光商材を熱心にアピールするなど、活発な商談が重ねられ、セラー・バイヤー双方の販路拡大に向けて有意義な場となった。

商談会終了後は、(株)全旅主催の懇親会が盛大に開催され、華やかな宴となった。また、商談会前日の13日にはFAMツアーが催行され、トヨタ博物館や名古屋城を見学するなど、県内の視察を行った。



「第18回 国内観光活性化フォーラム in あいち」 後援及び協賛団体・企業

【後援】

国土交通省、観光庁

愛知県、名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、新城市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町、設楽町、東栄町、豊根村

(公社)日本観光振興協会、(一社)日本旅行業協会、(一社)日本旅館協会、日本商工会議所、全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会

【協賛団体・企業】

(株)全旅、(株)旅行ビジネスサポート、(株)日本旅行、損害保険ジャパン(株)、東京海上日動火災保険(株)、三井住友海上火災保険(株)、AIG 損害保険(株)、大樹生命保険(株)、
愛知県、名古屋市、海部郡町村会(大治町・蟹江町・飛島村)、常滑市、知多半島観光圏協議会(半田市・常滑市・東海市・知多市・阿久比町・東浦町・南知多町・美浜町・武豊町)、
犬山市((一社)犬山市観光協会)、愛西市観光協会、あま市、高浜市観光協会、碧南市、蒲郡市観光協会、安城市観光協会、(一社)愛知県観光協会、(一社)全国旅行業協会福島県支部、北海道旅行業協同組合、東北地方支部長連絡会、京浜地方支部長連絡会、北信越地方支部長連絡会、東海地方支部長連絡会、近畿地方支部長連絡会、中国地方・四国地方・九州地方支部長連絡会、
愛旅協・協定会員連盟、(株)国際旅行社、(株)JTB、近畿日本ツーリスト(株)、ビッグホリデー(株)、日本航空(株)、全日本空輸(株)、中部国際空港(株)、県営名古屋空港協議会、東海旅客鉄道(株)、名古屋鉄道(株)、(一社)愛知県レンタカー協会、(公社)愛知県バス協会、名古屋国際観光バス(株)、(有)K-I観光バス、金森自動車興業(株)(ワールド旅行)、名阪近鉄バス(株)、(株)西三交通、福祉交通(株)、鯨バス(株)、つばさ交通(株)、名鉄観光バス(株)、ツーリスト・トップジャパン(株)(バスベル観光)、日本旅館協会中部支部連合会、(株)名鉄ホテルホールディングス、戸田家、名古屋東急ホテル、リソル(株)、(株)JR西日本ヴィアイン、伊良湖ホテル&リゾート、キューカン(九観連)中部事務所、(株)田原観光情報サービスセンター、(株)えびせんべいの里ホールディングス、ニュー渥美観光(株)、(株)嘉文、ヤマキ海産(株)、(有)マルナカ珍味、斎藤製菓(株)、(株)うなぎの兼光、ヤマサちくわ(株)、(株)ラグーナテンボス、(株)コムライン(和食酒家 縁)、日本料理 加賀屋 名古屋店、サッポロビール名古屋ビール園 浩養園、近鉄不動産(株)(あべのハルカス)、(株)八百彦、(株)エスワイフーズ(世界の山ちゃん)、OIMO CAFÉ IMOMI、(公社)鳥取県観光連盟、愛知県中小企業共済協同組合、学校法人 名城大学、三井住友カード(株)、(株)カサロ(エピスタコーポレーション)、日進螺子工業(株)、(株)日本バンケット、(株)シーエスエス総合舞台

(順不同)

多大なるご協力に
心より御礼を申し上げます。

一般社団法人 全国旅行業協会

本部実行委員会
地元実行委員会(愛知県支部)



第 18 回 国内観光活性化フォーラム in あいち / 報告書

令和6年(2024年)4月15日

一般社団法人 全国旅行業協会

〒107-0052

東京都港区赤坂 4-2-19

赤坂シヤスターストビル 3 階

TEL:03-6277-8310 FAX:03-6277-8331